

あなたにぴったりの福祉用具！
お選び致します！

～医療・介護で役立つ
福祉用具専門相談員の
ソムリエ的視点～



「ソムリエ」の題名の理由～食事場面に関わる福祉用具～

ソムリエのような視点が必要



多くの選択肢
の中から様々な
ことを考慮
し適正なもの
を選びます。



口腔ケア用品

食べこぼし防止
エプロン

すくい易い食器

やわらか
パック食品

スプーン

高さ調整テーブル

クッション

姿勢保持用
車いす

目次

●福祉用具専門相談員の仕事

●食との関わり

●症例～ソムリエ的選定～

見つける・つなげる・結果を出すの視点

福祉用具専門相談員

福祉用具専門相談員とは、

高齢者や障害者の

ニーズやADL・環境を把握し、

保険制度を交えた福祉用具貸与・販売・

住宅改修などの選択肢の中から個々に合ったものを

選定し、使い方のアドバイスを行う専門職。



選定の目的は・利用者の自立機能を生かすこと。

・介助者の負担の軽減すること。

●取り扱い用具：※は介護保険利用(1割・2割の負担で利用できる)

- ・レンタル品 (ベッド・車いす・手すりなど)※
- ・販売品 (シャワーチェア・ポータブルトイレなど)※
- ・住宅改修 (取り付け手すり・スロープ・風呂改修など)※
- ・その他 (食品・自助具・おむつ・つえ・くつ・など)

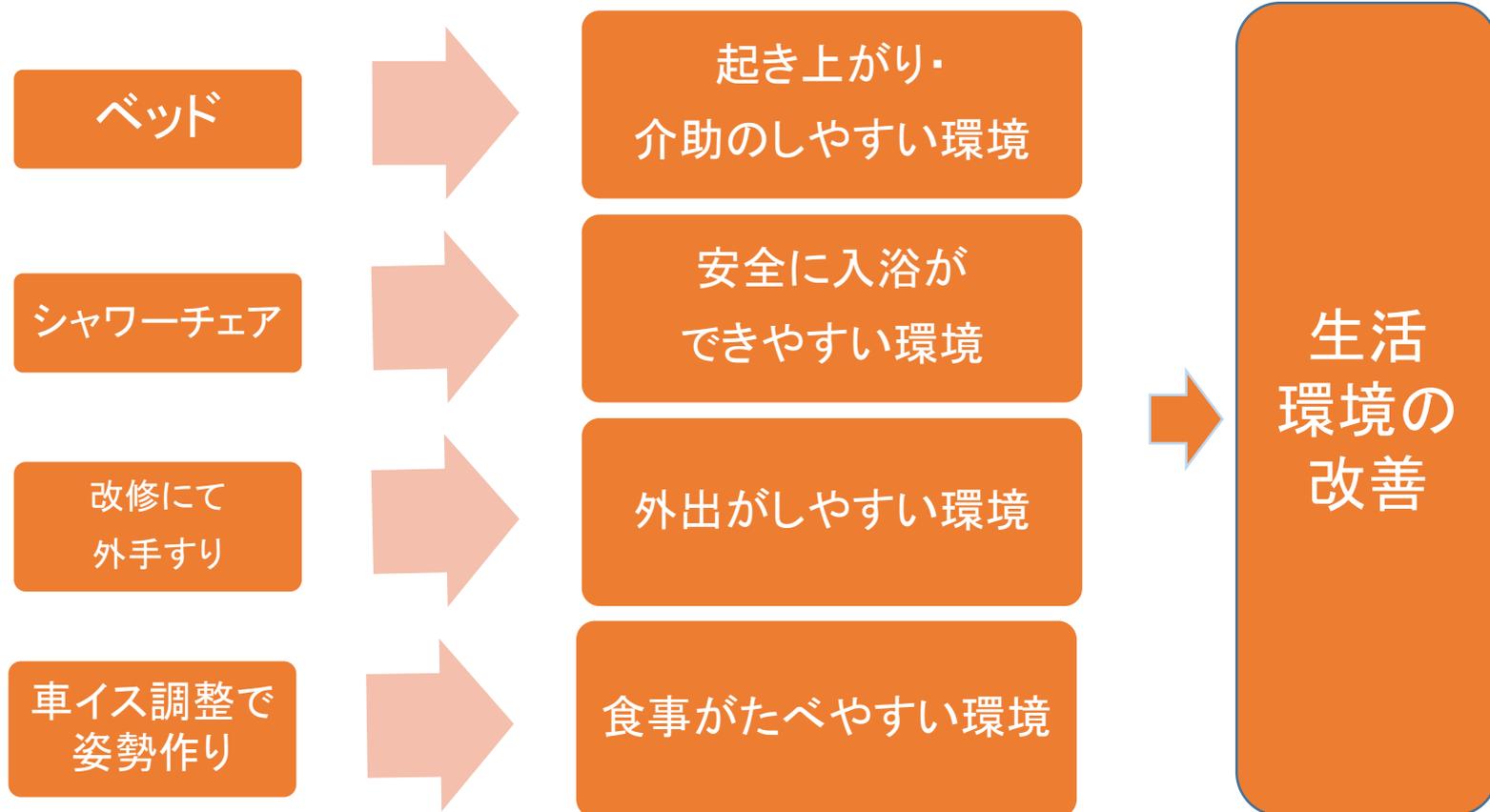
参考:テクノエイド登録数:ベッド600種類 車いす1140種類 ポータブルトイレ420種類

福祉用具専門相談員の仕事は「環境づくり」

用具や改修を通して

その方が生活をしやすい環境を作る事をお手伝いしています。

例



何を考えて「環境づくり」をするか・・・

介護保険サービスの目的は

自立支援！

出来る事が増えてサービスが
減っていく事が理想！

自立支援を目的としないサービスと目的としたサービス

道具屋さん と 福祉用具専門相談員 との比較



VS



例えば・・

自立支援を目的としない
道具屋さん の場合の支援



問題点

床ずれ対策のマットレスが欲しい。

対応

「かしこまりました。」

支援

「こちらがとにかく一番やわらかいマットレスです。」

福祉用具専門相談員の場合の支援（自立支援）



問題点

床ずれ対策のマットレスが欲しい。

対応

Q:どこまで出来ますか？

A:「寝返りが少しできる」

自立

寝返りが少しでも出来るなら
その機能を生かせるようにしましょう。

支援

エアマットでは寝返りが出来にくくなる事もあります。
まずは静止型のマットレスにしましょう。

家政婦さん・
道具屋さん と

訪問介護職員・
福祉用具専門相談員 の違い

訪問介護・福祉用具専門相談員は・・・
自立支援を目的とする



- 出来る事は活かしてやっていただく。
- 出来ない事の最低限のお手伝い。



「道具屋さん」と
「福祉用具専門相談員」は



自立支援を目的としているか

どうか大きく違う！

福祉用具の特長：

レンタル品は交換やお試しにより身体に合わせてタイムリーに選定できる。

用具の状態は変わらなくても

身体の状態は一日一日変化します。

身体に合わせて用具を変える事が必要。

自立支援を考えた選定＋タイムリーな選定



生きた福祉用具の提供！

～福祉用具利用によるADL自立度の効果～



日本福祉用具供給協会
調べデータより

一般社団法人
日本福祉用具供給協会

福祉用具を導入したことでADLが改善ができたケースを集計。



福祉用具を正しく使えば

- ・利用者の自立支援
- ・介助者の負担の軽減 になる。

●車いす導入の場合：

→1週間の外出の頻度が増加した：
186件 平均2.4回→3.9回／週

→家族以外とのコミュニケーションが増加した：
119件 平均5.8時間→8.5時間／週

●歩行器導入の場合：

→1週間の利用頻度が増加した：
55件 平均8.3回→9.4回／週

→家族以外とのコミュニケーションが増加した：
91件 平均6.0時間→8.3時間／週

●ベッド導入の場合：

→1日のうち横になっている時間が減少した：
26件 平均13.9時間→12.2時間／日

→1日のうち座っている時間が増加した：
103件 平均4.4時間→5.4時間／日

福祉用具専門相談員のある一日

10:00 おむつの相談

- 入院時は大丈夫だったのに急に失禁が・・・

11:15 住環境整備の相談

- 入院先の御茶ノ水の病院で本人・ご家族・PTとリハ時に相談

12:45 デイで車いす相談

- 食事時上手く座れないので食べられない

13:30 自宅に車いす・ベッド納品

- 環境に合わせた配置をご本人・ご家族と相談しながら導入

15:00 歩行器の検討

- ヘルパーの買い物動向ケアに合わせて訪問し使用状況の確認を行う。

16:00 手すりの相談

- 布団からベッドに寝るようになったので使い勝手が変わった。

報告書で在宅環境を報告～つなぐ～

病院と在宅を
つなぐ役割として
福祉用具専門相談員から
他職種に在宅環境を報告。

- ケアマネジャーへ
- 病院の理学療法士へ
- 病院の看護師へ

K 様 住環境

お世話になります。
K 様 住環境となります。
ご確認の上、ご検討・ご提案等
いただければと存じます。

●①…居室となる和室から廊下にかけての部分。室内移動は車いす移動を検討しており、段差の昇降、車いすの乗降の場所などが検討事項。
部屋から廊下に出る際に進んで移動するには、居室で車いすに移乗する必要あり。また、段差の昇降時に小型のスロープの必要性も検討。

●②…居室からトイレまでの廊下部分車いすでの移動の際は、階段からの転落予防が必要。階段部分に、跳ね上げタイプの横すりも検討。
トイレの出入りは、一度洗面所まで進んでから後ろに下がる操作が必要。

●③…日中過ごす予定のキッチン。写真左手側のテーブルにて読書や書き物、テレビを観るなどして過ごされていまして。出入口が56cmと狭小なため、扉を一旦外すことも検討。

●④階段の昇降は当面はヘルパーによる介助を導入予定。腕のプッシュアップによる昇降での対応の場合、プッシュアップ用の器具が必要と思われるため、こちらのご用意も必要となります。

●⑤…洗面所～浴室部分。入浴は当面サービスを予定。ただ、歯磨きや整容については、洗面所を使用することが想定されるため、段差の昇降が課題。車いすから一旦降りる動作も必要となることが想定されるため、離着座の安定・立位の保持などができる環境設定が必要。こちらはイスを用意することで、動作の安定を確保することも検討中。または、手すりの設置も視野に入れています。

●⑥…玄関部分。階段までは座位のまま移動するかヘルパーによる昇降介助を検討。いずれの場合も車いすの乗降の際に立位を取る必要があるため、動安定を図るための手すりの設置を検討中。

●以上が、■ 標宅の状況と、今後の検討課題のある箇所となります。現在の身体状況や今後の見通しなども含め、ご相談、ご提案させていただければと存じます。ご確認のほどよろしくお願い致します。

福祉用具専門相談員の「食」との関わり

① 道具 (食具・自助具)

② 配置



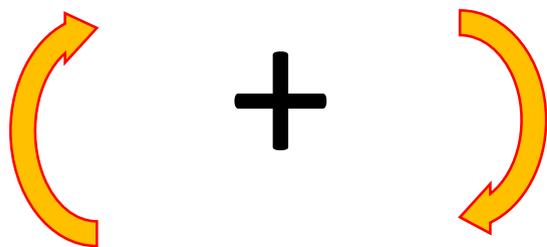
食環境づくり

③ 姿勢



食機能の維持・向上

(医師・看護師・歯科医・衛生士・栄養士・ヘルパー)



食環境づくり

(栄養士・ヘルパー・ST・PT・OT・ケアマネ
・福祉用具専門相談員)

①道具（食具・自助具）で食環境をつくる



食べる
ための道具



調理する
ための道具

食べるための道具

曲げる



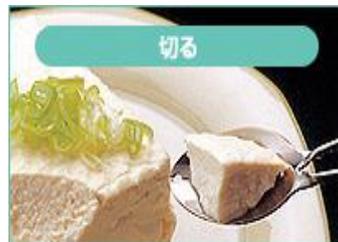
すくう



さす



切る



つまむ



廃用症候群、脳卒中 などの病気によって手の細かい動きの難しい方が使う自助具です。

食べるための道具

- ① 底に滑り止めが付いている
- ② すくいやすいように内縁が立っている。



内縁は円錐状になり、
カップを大きく傾けることなく
すべて飲めるように
なっている。

調理するための道具

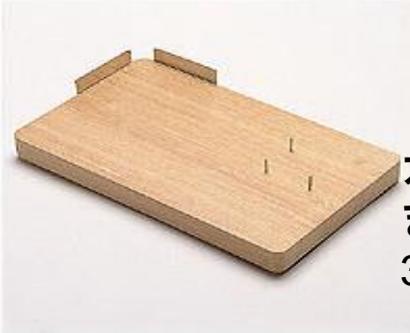
片手皮むき器

10290円



3,800円

持ちやすく、
切りやすいように
工夫されている包丁。



ガード付き
まな板
3,675円

調理するための道具



1,260円

キャップオープナー



525円



3種類のふたを開けられる。

ペットボトルハンドル



525円

紙パックハンドル



525円

折りたたみカップ



525円

福祉用具専門相談員の利用方法

「こんなものは無いか」をぜひ聞いてください。

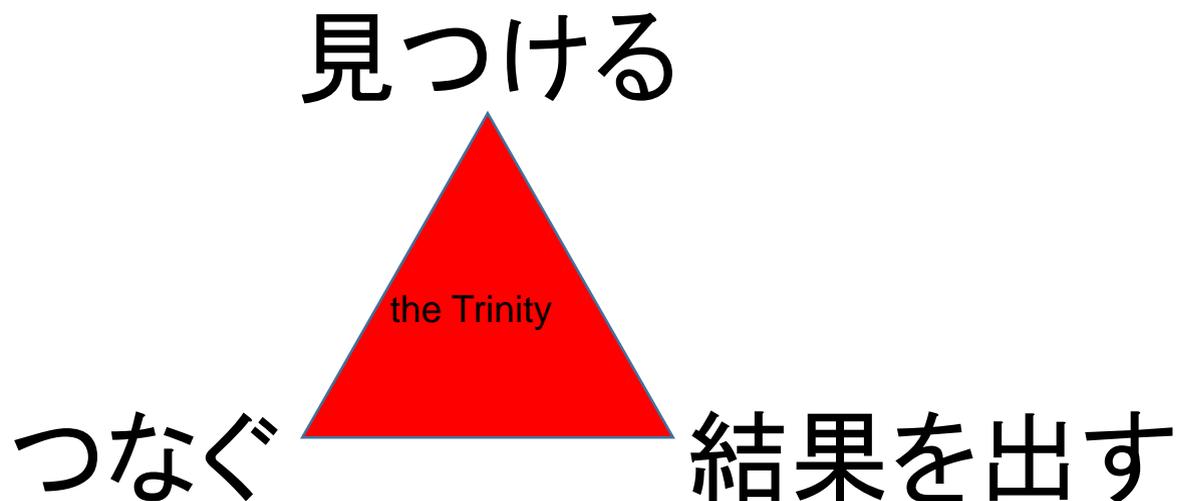
知っているものは限られますが
取引先やメーカーとの連携をしておりますので
探す手立てを知っています。

まとめ

- 福祉用具専門相談員は自立支援を考え選定し環境を整える仕事。
- 福祉用具専門相談員の専門性を活かした食支援アプローチがある。
- 見つける立場・つなげる立場・結果を出す立場になりうる。

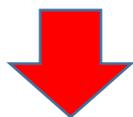
MTKトライアングル

見つける(M) つなぐ(T) 結果を出す(K)

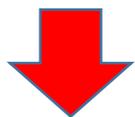


最期まで口から食べられる街、新宿

食事に問題がある..



環境を整える専門職がある



そうだ！福祉用具専門
相談員に聞いてみよう！